

## 第6学年2組 社会科学習指導案

平成18年11月17日（金）第2校時

### 1 単元名 長く続いた戦争と人々の暮らし

### 2 単元の目標

- ・日中戦争から第二次世界大戦に至る歴史に関心を持ち、資料館や博物館などを活用したり、語り部さんの話や戦争を知っているお年寄りに話を聞いたりしながら、進んで調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・見学したことや調べたことをもとに、日中戦争から第二次世界大戦に至る歴史について、戦争の実態と平和の尊さについて考えることができる。(思考・判断)
- ・資料館や博物館などを見学したり、写真、地図、年表、手記などの各種資料を効果的に活用したり、調べたことを目的に応じてノートや作品にまとめることができる。  
(技能・表現)
- ・我が国が戦時体制に移行したことや、敗戦によって国民が大きな被害を受けたことが分かるとともに、アジア・太平洋の諸国・諸地域に大きな損害を与えたことが分かる。  
(知識・理解)

### 3 単元について

前単元では、我が国が戦争に勝利し、台湾や満州に力を伸ばしていったこと、韓国併合や重工業の発達により国力を充実し、国際的地位が向上していったこと、我が国の近代化に貢献した先人の努力などについて学習してきた。

本単元では、日中戦争から第二次世界大戦に至る歴史や、我が国が戦時体制に移行したこと、敗戦によって国民が大きな被害を受けたことを学習する。満州事変から日中戦争、太平洋戦争と世界に戦争が広がっていったことや、それに伴い戦争中は人々の生活が制限され、国民が苦難を強いられたこと、また戦争末期には、国内各地が空襲で焼かれたり、原爆が投下されたりするなど、大きな被害を受けて降伏したことをとらえさせることが大切である。さらに、平和を尊ぶ日本国民の一人として、二度と戦争の惨禍を繰り返すことがないように努力しようとする心情を育てることが必要であると考えます。

また本単元は、中学校の社会科学習『二度の世界大戦と日本』の学習に繋がり、「日本の中国侵略」、「日中全面戦争」、「第二次世界大戦」、「アジア・太平洋での戦い」、「戦争の終結」についてさらに詳しく学習していくことになる。

### 4 児童について

男子15名、女子16名、計31名のクラスである。

本単元に関わる「戦争」に対する意識や社会科の学習について調べたところ、次のような結果であった。

『太平洋戦争を知っていますか。』という質問に対して、「知っている」(2人)「聞いたことはあるが詳しくは知らない」(24人)「全く知らない」(5人)という結果である。知っている言葉としてあげたものは、真珠湾攻撃、神風特攻隊、ミッドウェイ海戦、原爆

投下などであった。児童には、興味・関心や知識に個人差がある。また、戦争が起こった経緯や戦争中の生活については、断片的な知識しかない児童が多い。全体的に意欲的に社会科学習に取り組む児童が多い反面、過去の出来事として歴史学習そのものに興味をもっていない児童も数名いる。

語り部さんとの学習については、三年生の時に国語科「ちいちゃんのかげおくり」や社会科「むかしの暮らし」の戦争に関わる教材で、地域の高齢者から戦時中の人々の暮らしについてお話を聞き、日本が負けたこと、食べ物が少なくて苦しかったこと、空襲でたくさんの方が亡くなったことなどを聞くことを通して、自分のこととして共感できた。

また、一人一人が自分の学習課題を設定し学習する方法は、前単元でも取り入れているが、興味をもって取り組んでいた。社会科の学習が苦手と感じている児童の中には、資料の読み取りのポイントがおさえられず、難しいと感じている児童が多い。

## 5 指導について

児童は、6年生から日本の歴史を学習している。歴史学習におもしろさを感じ、興味・関心をもてるようにすること、正しい知識を身につけること大切にしてこれまで学習を進めてきた。

中学校へ向けて、社会科学習をスムーズに移行させるために、中学校の先生との話し合いや共同授業を通して小中の連携を図ってきた。話し合いの中で出された中学校の要望を参考にしながら、次のような授業作りに取り組んできた。

### ①課題の持たせ方

単元の学習の始めに当たっては、単元全体を通した課題を設定し、時代の大きな変化をつかませていきたい。さらに一人一人が自分なりの課題を設定し学習を進めていく。個々が課題を持つことにより、児童により興味・関心を持たせることができると考える。さらに、それらの課題をいくつかに集約し、授業の追求課題としていきたい。

### ②体験を取り入れて

学習にあたっては、できるだけ体験を重視した学習に取り組んでいる。これまでもいろいろな体験を通した学習を進めている。例えば、「聖武天皇と奈良の大仏」では、模造紙を使って、実際の大きさの大仏を作ることをしたり、室町時代の学習では、雪舟の墨絵を実際に描いたりしている。総合的な学習では、郷土歴史博物館の福井空襲コーナーで、焼夷弾を直接持つ体験を通し、戦争の悲惨さを感じることができた。

さらに、今回の学習では、課題設定の時や検証の時に、語り部さんから福井空襲の話を知ったり、戦争中の生活について知ったりする活動を取り入れる。このことにより、戦争をより身近なものとしてとらえながら学習していく手だてとしたい。

### ③資料について

中学校の先生との協同授業では、専門性を活かし、資料を見るときポイントを具体的に指導してもらった。本時においても、課題作りをしやすいように、また興味・関心をもたせやすいように資料の精選を行い、教育機器を効果的に利用したい。

6 指導計画（全6時間配当）本時（1／6）

時	学習内容	ねらい	関	思	表	知	評価基準
1 (本時)	福井空襲と日本の歩み	福井空襲を通して、戦争の悲惨さを感じることができると同時に、戦争へと歩み出し敗戦を迎える日本について、学習課題を設定することができる。	○		◎		(関心・意欲・態度) (技能・表現) 語り部さんの話や戦争の様子が分かる資料を見ることを通して、自分なりの学習課題を設定することができる。
2	中国との戦争が広がる	中国との戦争の様子を調べ、日本軍が中国の人々に大きな被害を与えたことや、中国の人々の抵抗の戦いを調べ、日中関係を考えることができる。		◎	◎		(技能・表現) 地図、年表などを効果的に活用し、日中戦争の原因と広がりを調べることができる。 (思考・判断) 日中戦争で侵略を受けた中国の人々の生活や気持ちを考えることができる。
3	世界に広がった戦争	日本がアジアや太平洋に戦場を広げながらアメリカやイギリスなどと戦った様子やその理由を考えることができる。	◎		◎	◎	(関心・意欲・態度) アジア全図、世界地図を用意する。それぞれの国の大きさや位置などを理解させる。 (技能・表現) 地図、年表などを効果的に活用し、太平洋戦争の原因と広がりを調べることができる。 (思考・判断) 日本の戦争拡大の様子や侵略を受けたアジアの人々の気持ちを考えることができる。
4	戦争中の人々の生活を調べる	当時の資料や戦争について知っている方からの聞き取りや調	◎		○		(関心・意欲・態度) (技能・表現) 戦争中の国民の生活に

		査などから、戦争中のくらしは制限の多い苦しいものであったことを理解することができる。				◎	関心を持ち、語り部さんの話や各種資料を効果的に活用し、意欲的に調べることができる。 (知識・理解) 戦争による国民生活への影響を理解することができる。
5	空襲で日本各地の都市が焼かれる	空襲の被害について調べ、長引く戦争の中で日本は敗北を重ね、各地でたくさんの方が犠牲になったことを理解することができる。				◎	(知識・理解) 戦争が長引くにつれて、空襲が大都市から日本各地に広がり、たくさんの方が犠牲になったことについて記述している。
6	原子爆弾の投下と戦争の終わり	戦争終結に至る過程について調べ、戦争についてわかったことや考えたこと、感想などをまとめることができる。	○	◎		◎	(技能・表現) 沖縄戦、広島・長崎の被害について、写真や文章から読み取り、戦争の悲惨さをまとめている。 (関心・意欲・態度) (思考・判断) 平和な日本に生きる一人として、戦争に対する自分の考えをまとめている。

## 7 本時の目標

語り部さんの話や、時代背景の分かる資料を通して、アジア・太平洋での戦争、戦争中の人々の生活について、学習課題を設定することができる。

## 8 準備物

ワークシート、課題を書くための紙、写真（東京大空襲、福井空襲、原爆、ナンキン入城、真珠湾攻撃、ぜいたくはできないはずだ、八幡製鉄所）、スクリーン、プロジェクター、図（戦場となったアジア・太平洋の地域）

## 9 本時の展開

学習活動	支援（・）と評価（☆）
<p>○日清・日露戦争後の日本の様子を年表でふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争で勝利して、領土を拡大したり、多くの賠償金を手に入れた。</li> <li>・日露戦争で勝利して、日本の世界における地位が向上した。</li> <li>・条約改正により、関税自主権が回復し、輸出が伸び、国内の工業が発展した。</li> <li>・北里柴三郎や野口英世など国際社会で活躍する人が出てきた。</li> </ul> <p>○福井空襲の写真を見て、気がついたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物が壊されている。</li> <li>・空襲されて、焼け野原になっている。</li> </ul> <p>○語り部さんから話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井空襲の被害の様子、恐ろしさ、悲惨さ</li> <li>・戦争中の生活の様子</li> </ul> <p>○空襲が国内各地であったことを確認し、日本中が焼け野原になったことを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡製鉄所の写真を見せながら、前時までに学習してきた、日本の様子をふり返り、国力が大きくなってきたこと、世界に歩み出してきたことを確認させる。</li> </ul> <p>・福井空襲や戦争中の生活の様子について実体験を中心に話をしてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをとりながら、話を聞くようにさせる。</li> </ul> <p>☆戦争中の生活に関心を持ち、意欲的に聞こうとしているか。 (ワークシート・行動観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国力が大きくなってきた日本が、その後、空襲を受け、焼け野原になったことを知り、日本の大きな変化に疑問をもたせる。</li> <li>・時代の大きな流れを意識させるために、単元全体を通した課題を提示する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>なぜ、日本は焼け野原になってしまったのだろう。</b></p> </div>	
<p>○予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争をしたため。</li> <li>・アメリカの空襲を受けたため。</li> </ul> <p>○写真を見ながら、自分なりの学習課題をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題づくりの手助けになるように、写真を提示したり、デジタルコンテンツをプロジェクターで映したりする。</li> </ul>

### 中国との戦争

- ・なぜ戦争が始まったのか。
- ・結果はどうなったのか。
- ・どのような戦争だったのか。

### 世界に広がった戦争

- ・どうしてアメリカと戦ったのか。
- ・戦争はどこまで広がったのか。
- ・なぜ、広がったのか。
- ・結果はどうなったのか。
- ・どのような戦争だったのか。

### 戦争中の生活の様子

- ・戦中の学校生活はどのようなだったのか。
- ・どんな服を着ていたのか。
- ・何を食べていたのか。
- ・なぜ、贅沢はできなかったのだろう。

### 空襲、戦争の終わり

- ・空襲では、どれくらいの死者が出たのか。
- ・どのようにして戦争は終わったのか。

○今後の学習の見通しを知る。

- ・語り部さんの話も参考にして課題を設定させる。

- ・紙に書いた課題を，テーマごとに黒板に貼っていくようにさせる。

☆自分なりの学習課題を設定することができたか。(課題カード)

- ・児童が作った課題を確認し，次時からの授業中で解決したり，自分で調べたりして課題を解いていくことを伝える。

10 反省

11 ご高評